



山際つとむ 議会レポート

参議院議員選挙を終えて

第24回参議院議員通常選挙が7月10日に投票、即日開票され、改選議席が2から1議席となった新潟選挙区では野党統一候補がわずか2、279票差で当選しました。

しかしながら全国的にみれば与党が改選過半数を上回り、安倍首相が目指す憲法改正に賛同する改憲勢力は非改選と合わせ国会発議に必要な全議席の3分の2を超え、選挙期間中はあえて争点とはしていなかった憲法改正が現実味を帯びてきたことに加え、成果の見えない「アベノミクス」という経済政策を更に暴走させ、格差を広げていくのではないかと不安が付きまといまいます。

また、今年6月から18歳まで選挙権年齢が引き下げられ初の全国選挙となり、一部の市区町村を抽出した結果ではありますが18歳では51.17%、19歳では39.66%と全体の投票率である54.70%を下回ったことは残念でなりません。市議会においても新人議員を中心として主権者教育を進める活動を行っていますが、自分たちの将来を決めるために大切な1票を投じるという意識の醸成を進めていかなければと改めて考えさせられました。

2月定例会で一般質問

2月定例会にて一般質問に立ちました。制度導入から10年を迎える指定管理者制度についての課題や生活困窮者の自立支援に向けた項目で主な質問内容と答弁は以下のとおりです。



<指定管理者制度について>

問 指定管理者の評価の際にはしっかりと評価を行い、一定レベル以上の実績がある場合は更新時の応募に対しインセンティブを与え、運営がマンネリ化しサービスの低下が認められる場合には減点対象とするなど、次回の公募に実績を反映させる必要があると思うがどうか。

答 更新時の実績の反映は指定管理者の意欲を高めるため管理運営が優秀な団体に対し次の選定の際に加点するなどの取り組みを行っている自治体もある。一方、新規の団体が選定されにくくなるという問題が想定される。指定管理者の努力が評価されるよう他都市の事例も研究しながら検討を進めていく。

<生活困窮者自立支援について>

問 生活困窮者自立支援法に基づく事業を含め社会福祉制度は対象とすべき属性を詳細に定めているものの、現実的には一人の生活困窮者が明確にある一つの福祉制度に当てはまる事例ばかりではなく、複合的な事情を抱える方が実際には見受けられる。様々な事情がある中、多様な福祉サービスを提供できるよう組織横断的な取り組みが必要であると思うがどうか。

答 生活上の悩みを複数抱えている方は、相談者の8割を超えており、生活困窮者が複合的な課題に直面していることが相談実績から伺える。複合的な課題を解決するためには、1団体だけで支援したり、一つの制度だけで支援するには限界があることから、主要事業者のところに毎月、社会福祉協議会、NPO法人など地域の様々な社会資源が集まり支援調整会議を行っている。この会議には、取り上げる事例に応じて、幅広い方面の方から参加していただき、多様で効果的な支援を行うと共に、事業全体を効率的に運営するよう努めていく。

平成28年度当初予算は3,593億円

平成28年2月定例会において、今年度の新潟市における一般会計（市税を主な財源とする、市の基本的な会計）の当初予算が3,593億円で可決されました。

平成27年度当初予算は3,645億円であったことから、対前年度比52億円減のマイナス予算となっており、自主財源比率は47%と前年度と変わらない数値です。

このような厳しい財政状況に加え、急速な人口減少や少子・超高齢化が全国的に進む中、本市では持続可能なまちとして、将来の世代に引き継いでいくため財政予測計画を策定し、一層の財政健全化に向けた取り組みを推進し、財政目標として市債残高（臨時財政対策債を除く）を平成28年度から減少させ、平成34年度までに3,800億円以下に削減することを目指すことと示されたことから、議会においてしっかりと検証してまいります。

住民投票条例の制定を否決

2月定例会において新潟市の新バスシステム（BRT・連節バス）について住民の意思を問う住民投票条例の制定の議案が提出されました。

所属する環境建設常任委員会において、私から、『約6万人の署名という事実は重く受け止めるべきことではあるものの、まず寄せられる声からすると署名をした方の中でも新バスシステム、BRT、連節バスの定義が曖昧であると感じる中、意見陳述では「BRTが妥当かどうかではない。」「住民投票の結果だけで今後の具体的な方向が決まらないのは確かだ。」とされていることから、何についての賛否なのか、また具体策が示されない中では1億5千万円かけてアンケートを行うようなものであり、10年以上検討されてきた本市における公共交通のあり方を白紙に戻せば更なる混乱や弊害が

予想される。市民の願いをどう汲み取るかが焦点とすれば公聴会の開催や本来の利用者に対する聞き取り、また潜在的な利用者に対するモビリティ・マネジメントの推進などを行い、より具体的な改善策を考えることが有効であると考え。』と発言し、本会議での採決の結果、反対多数で否決となりました。

会派視察で先進地に学ぶ

5月30日から6月1日にかけて会派視察を実施しました。

初日は宜野湾市の嘉数高台から米軍普天間基地などを見学しながら平和運動や基地問題について学習しました。



オスプレイが並ぶ普天間基地

4月にうるま市で元米海兵隊員の軍属による女性死体遺棄事件が発生したこともあり、沖縄県民の願いでもある基地問題と共に一刻も早い解決が望まれます。

2日目は沖縄本島の最北端にある国頭村の集落の住民が共同で出資・運営する商店である「奥共同店」を視察。創立110年の歴史



を誇り、わずか184人の集落で利益を上げ全国から視察が来ています。過疎地や限界集落における買い物難民を発生させないための手法について学びました。

3日目は福岡市でMICE（多くの集客が見込まれ、経済効果の大きいビジネス関連イベント。また、それを開催するための大型施設）について、福岡国際会議場を始めマリンメッセや国際センターの施設を見学。人口など都市の規模が違うものの、その稼働率は目を見張るものがあります。

ただし、稼働率の高さ故、メンテナンスの日程がなかなか取れないとのことで、悩ましいところでもあります。また、視察当日には博多港にクルーズ船が寄港していました。新潟では5月に外国客船「コスタ・ビクトリア」が東港に寄港した際は大きなニュースとなったことに対し、2015年度に259回というクルーズ船寄港回数日本一となった博多港では特に話題性も無いようですが、2年前には1/7しか寄港していなかったことを考えれば、本市ももっと誘客に力を入れるべきと改めて感じました。



6月定例会にて

給付型奨学金についての意見書が否決

平成28年6月議会定例会が6月14日から7月4日の日程で開催されました。

市長提出議案のうち一般会計補正予算は歳入歳出にそれぞれ9億2,181万円を追加し総額3,604億9,687万円となり、今後成長が見込まれる航空機産業の設備投資支援としての中小企業成長分野参入促進補助金、保育所などにおける業務効率化推進事業として保育システムの導入経費などが主なもので、その他都市計画道路網川原線の事業進捗により必要経費を増額する件については、所属する環境建設常任委員会において、小中学生の通学路でもあることから早急にボトルネックの解消を図られるよう要望し、他17件の一般議案と共にすべて可決されました。

議員提出議案では、「自主避難者に対する住宅支援についての意見書の提出について」は全会一致で可決されましたが、「元海兵隊員の米軍属による女性死体遺棄事件に関する意見書の提出について」、「給付型奨学金の導入、拡充と教育費負担の軽減を求める意見書の提出について」は保守系会派が反対し否決されてしまいました。元海兵隊員の件については反対討論もなかったばかりか、給付型奨学金についての反対討論では、「政府が6月2日に閣議決定したニッポン一億総活躍プランにおいて、授業料減免の充実を図るほか、奨学金制度の拡充を図ることとしたことから、今の政府の取り組みを支持する立場から意見書を提出するまでもないとのことで反対する。」というものでした。そもそも意見書とは政府や国会側への拘束力はないものの、地方議会の意見を国の政策に反映させるため、政府・国会に提出する文書で、時時に応じ国民、県民、市民が切実に思うことを地方からも声を上げる機会であり、これを否定することは非情としか言いようがありません。

その他、陳情は14件中1件が継続審査となった以外はすべて不採択となりました。昨年度に引き続きBRT関連が多く提出されましたが、内容的にはあまり変わらず趣旨説明においては感情的なところが見受けられ残念でした。

あとがき

今年は4年に1度のオリンピック開催年。このレポート発行時にはリオデジャネイロで熱い戦いが繰り広げられます。そして4年後には東京で開催されますが、その方向性がこの度の都知事選の結果によっても左右されることとなるでしょう。しかし現在、世界的にはテロの恐怖もあり、お祭りムードだけとはいかない不安もつきまといまいます。また、東京開催の前後で今の日本の状況がどのようになっていくのかという心配も尽きません。

ただただオリンピックが平和の祭典となることを祈ります。

発行／民主にいがた 山際 務（この議会レポートの発行には政務活動費を使用しています。）

市議会会派控室／〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1

TEL 025-226-3476 FAX 025-211-4411

山際務事務所／〒950-0941 新潟市中央区女池6丁目2番12号207

TEL 025-285-2106 FAX 025-285-2026

E-mail: tsutomu-y@heart.ocn.ne.jp

URL: http://tsutomu-yamagiwa.com/